



インスピレーションになる

## 宇都宮ロータリークラブ会報

Rotary



宇都宮ロータリークラブ 会長 岡崎善胤・幹事 熊本勇治 ID#13888

テーマ「ロータリーは何をするか？」各々のロータリーの価値を行動しましょう！

国際ロータリー会長 バリー・ラシン テーマ BE THE INSPIRATION

国際ロータリー第2550地区 2018-19年度ガバナー 伊東永峯

テーマ「ポールを語ろうーそれは一人のインスピレーションから始まった」

例会日 火曜日 12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町 5-12

事務所 宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル2F Tel 028-666-0555

E-mail [u-rc01@silver.plala.or.jp](mailto:u-rc01@silver.plala.or.jp) FAX 028-666-0333

(2018年) 平成30年12月18日 No 23 2018～2019年度 (第3272回会報)

会員数 105名 出席者数 55名 出席率 57.3%

### ビジター紹介 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

高久仁様 (ゲストスピーカー)

### 会長挨拶 (岡崎善胤会長)

例会にお集まり頂き有り難うございます。今年度最後の例会になります。次回第1例会の夜には、新年会がございます。新年も宜しくお願い致します。RI会長からマイロータリーに登録されている会員様に「新年も皆様にとって幸せで健康な1年になりますよう！」と、このようなメッセージが届いていると思います。又、本年度決議審議会の決定事項が来ていました。ロータリーのルールで、毎年決議審議会があります。規定審議会は3年に1度行われ、2016年度版が現在最新です。決定翌年に掲載されます。国際ロータリークラブの定款と細則そしてロータリークラブの標準定款に関わる事項決議案に投票致します。手続き要覧といまして、ロータリーのリーダーの役割と最も関連のある方針を提供しています。マイロータリーで検索をして頂けたらと思います。

今日の例会ですが、宇都宮中央警察署署長の高久様に卓話を頂く事になっております。年末のお忙しい中、有り難うございます。本日も宜しくお願い致します。

### 社会奉仕委員会報告 (関口快太郎委員長)

先週に引き続き「歳末助け合い」募金の箱をお廻し致します。是非ご協力をお願い致します。その後、NHKの局長様に会長よりお渡しさせていただきます。

### インターアクト報告 (永井宏樹委員長)

先週の土曜日12月15日きずな学園でクリスマスパーティーを行いましたので、ご報告申し上げます。岡崎会長をはじめ、ご参加頂きました皆様有り難うございました。インターアクター25名と宇都宮法人会の皆様にもご協力を頂き、多くの子供達と楽しく過ごすことが出来ました。有り難うございました。

### 親睦活動委員会報告 (明賀一博委員長)

先週のクリスマス例会には、沢山の皆様にご参加を頂き有り難うございました。会員奥様70名の方にご参加を頂きました。1月8日の新年会は「うをのぶ」さんでの開催を予定しております。2月11日、茨城方面への「あんこう鍋ツアー」を計画しております。午後宇都宮を出まして、水戸市の美術館・博物館巡り、那珂湊での買い物、そしてあんこう鍋をめしあがって頂くツアーを予定しております。後日、ご案内をさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

### 会員増強委員会報告 (阿部欣文委員長)

本日、この例会終了後、会員増強委員会の委員会を開催致します。委員会のメンバーさんには、お集まり頂きたいと思っております。皆様の中に新しい方をご紹介いただける会員様がいらっしゃいましたら、私共

メンバーに是非ご連絡下さい。ご協力をお願い申し上げます。

### ニコニコボックス委員会（石島洋委員）

結 婚 祝：矢嶋昭司会員 松永建太会員

奥 様 誕 生 祝：長谷部周彦会員 松永建太会員

そ の 他：印出井敏英会員

12月15日、きずな学園でのクリスマス会にお手伝いできず、  
誠に申し訳ございませんでした。

### 岡崎善胤会長

本年度の社会奉仕事業としまして「NHK 歳末たすけあい」へ、10万円を寄付させていただきます。

— 会長より、NHK 局長様へ —

### プログラム紹介（プログラム委員会 岸本卓也委員長）

本日の例会卓話は宇都宮中央警察署長 警視正 高久仁様に、おこし頂いております。高久様は、那須郡那須町のご出身です。昭和53年4月栃木県警察官を拝命され、足利警察署、県警本部で要職を重ねられ、平成25年3月鹿沼警察署長、平成28年3月警務部総括参事官、宇都宮中央警察署長をされております。「危機管理について」という演題で、お話を頂きます。宜しくお願い致します。

### 卓話「危機管理について」

#### 宇都宮中央警察署長 警視正 高久仁様

只今ご紹介にあずかりました宇都宮中央警察署長の高久です。2年目です。自己紹介をさせていただきます。来年は私の干支、いのしし60歳になります。どうぞ、宜しくお願い致します。昨年この例会にお呼び頂き「魅力ある職場づくり」という、お話をさせていただきました。警察官を志す若者が年々減っております。このままではいけないと、県警察も力を入れ魅力ある職場作りをしなければと「計画的な休暇取得」や「職場の環境整備」等のお話をさせていただきました。

今日は危機管理についてお話をさせていただきます。ロータリーの目的第1から第4までの中に、奉仕という言葉が入っております。社会貢献という尊い活動だと思っております。警察にも「職務倫理の基本」というものがあり、5項目からなっており、その一つに誇りと使命感を持って国家と国民に奉仕するとあります。社会に奉仕するという目標は一緒でありますので警察の警察活動に対しまして、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。警察の仕事は、警察法第2条に規定されております。第1項には、個人の生命・身体・財産の保護により、犯罪の予防・捜査・被疑者の逮捕・交通の取締・その他公共の安全と秩序の維持に当たる事をもって、その責務とする。第2項には、この範囲内で乱用することの無いように書いてあります。警察の責務は、犯罪捜査だけをしていれば良いというものでは無く、その他公共の安全と秩序の維持その他の部分の対応が、近年は多くなってきています。警察の特殊性・個人の生命身体を守ることです。警察のミスで市民の命が奪われることがあってはならないことから、危機感と緊張感を持って、職員には職務執行に当たらせております。皆様方は、色々な会社を経営されております。私共の危機管理が参考になればと思いますので、聞いて頂ければ幸いです。先ず危機管理の一つに、中央警察署管内の実情・実態の把握があります。課長等からの様々な報告があります。また宇都宮中央警察署には、1日平均で、約40件の110番が入ってきます。それを朝、当直が夜の扱いを退庁前の午後5時になったら、日中の扱いを見て目を通します。



どのあたりで事故が多くなってきているか？どのあたりで少年達が集まっているか？何処でどんな時間帯に駐車違反が多くなってきているとかです。その様な内容を踏まえ、有効な対策を講じる為に、1日の110番全てに目を通しております。また警察安全相談では、色々な相談が持ち込まれます。宇都宮中央警察署では、1日に7~8件の相談があります。内容は、家庭内のトラブル・近隣のトラブル・交通上のトラブル等であります。電話での相談が多く、電話ですと顔が見えませんが、自分の主張ばかりをする人もいます。ですから、警察安全相談に関しましては、電話相談の場合必ず面接をして、現場の確認をさせております。実態実情を確認するには現場に行かないと分かりません。現場に行き顔と顔をあわせ、周りに聞き込み自分の目で見て肌で感じて、真実を把握し対応すること徹底させています。特に若い警察官はコミュニケーションが不足していたり、字を書くのが下手・文章を書くのが下手等言われますが、現場に行くことにより人と話をしてコミュニケーション力をつけさせ、結果を書類にして残す作業を徹底させています。若い警察官の育成にも役立っております。また警察に対する苦情の電話も多くあります。そんな時は先ず、事実をよく確認し相手は何を言いたいのかを正確に受け止める作業を徹底させております。そして面接を基本としています。苦情の場合、面談をして誠実に話を聞いて対応する事です。嘘は絶対つかない・つかせない、先ずは身内の方の事実確認をしっかりと行っています。幹部からの報告だからと鵜呑みにせず、疑ってかかる・チェックを入れて対応しております。「百聞は一見にしかず」という言葉がありますが、現場に行きませんと真実が見えてきませんので、幹部には必ず現場を確認させています。2つ目は、やるべき事をやるべき時にしっかりとやるという事です。警察の扱う案件は、ほっとおけば解決するかと言いますと、全く解決しません。ますます複雑困難になってしまいますので、やるべき時にやるべき事をきちんとするようにしております。警察の場合、8時半から午後5時15分迄オールスタッフで対応しております。夜間の16時間は、当直体制で対応します。少ない人数で、多くの事案に対応しなければなりません。昼間の約4分の1の体制で、16時間をカバーします。当直時間内で処理出来るものは、しっかりと処理させるようにしています。3つめは、2.5人称の視点で仕事をしなさいと言っています。これは評論家柳田邦男さんが言ったことです。「人間を対象とする業務に就いている社員には、3人称の視点では無く2.5人称の視点が求められますよ」と言われました。職員には、相手の身になって相手の立場に立って、親切に対応しなさいと言っています。1人称、自分の事でしたら言われなくともやります。1歩2歩3歩も踏み込んで対応します。2人称、あなたとなりますと奥さん・子供・親族になるかと思いますが、これらの者からの相談が有ったとしたら、1歩2歩と踏み込んで対応すると思います。3人称は彼ら彼女らになりますが、これは冷めた客観的な視点で対応するということです。2.5人称の視点で対応すれば、身内の事としてとらえ、また客観的な視点での対応が出来るという事です。職員には2.5人称の視点で物事に対応するよう言っております。これまで申し上げてきたことが危機に陥らないために大切な事かと思っております。以上お話をさせて頂きましたが、今日の題目「危機管理」について参考になったかどうか分かりませんが、何かの参考にして頂ければと思います。暮れになりまして、事件事故の多発が予想される所です。今後とも皆様のご支援ご協力を頂く事になりますので、宜しく願いを申し上げます。御清聴有り難うございました。

#### 【12月卓話】

12月18日(火)「危機管理について」

宇都宮中央警察署長 警視正 高久仁様

#### 【1月卓話】

1月8日(火)紙切り芸

柳貴川起助様

=当日の食事=



ビーフカレーライス  
サラダ 福神漬け  
コーヒー

会報担当：飯村 悟 会員

画像担当：菅谷 隆臣 会員